

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公共下水道運営審議会運営事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	昭和40年度～永年	目	0 1 一般管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 2 0 公共下水道運営審議会運営事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川市公共下水道運営審議会規則		

【現状と課題】

現状と課題	下水道使用料は、昭和42年度の徴収開始より、計8回の使用料改定を行ってきている。直近では平成16年度に改定を行って以降、改定を行っていないが、企業会計移行を見据えながら、料金改定については慎重に検討していく必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
公共下水道運営審議会、委員	市長の諮問に応じ次の事項を調査審議する。(1)排水設備の設置に関する事。 (2)公共下水道の使用料に関する事。 (3)公共下水道受益者負担金に関する事。 (4)その他市長において必要と認める事項	学識経験を有する者、受益者の代表から下水道事業に関する意見を伺い、事業運営に反映させていく。また下水道使用料、受益者負担金の改定時等に審議会に諮り、答申してもらう。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外				

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						

事業費	千円	平成23年度	平成24年度	平成25年度
			59	60

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	有効性	効率性	評価	備考
1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。			評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。			評価	
3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。			評価	
4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。			評価	
5 事業に対するニーズを把握していますか。			評価	
6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。			評価	
7 類似事業との統廃合ができませんか。			評価	
8 市民との協働を取り入れていますか。			評価	
9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。			評価	
10 受益者負担の割合は妥当ですか。			評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	下水道使用料等改定時は、改定案を審議会に諮り、答申をもらうことで、議会提出前の一定のコンセンサスを得てきている。今後も下水道行政の民主的な運営のため、下水道事業に関する意見を伺い、調査審議してもらい、事業運営に反映させていく。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	60	内訳	国費	県費	市債	他	60	一般
-----	----	----	----	----	----	---	----	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公共下水道受益者負担金徴収事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	昭和41年度～ 永年	目	0 1 一般管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 1 0 公共下水道受益者負担金徴収事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法、地方自治法、加古川市下水道事業受益者負担に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	整備区域が市街化区域から市街化調整区域へと移るにつれて整備費用の増加とともに、個々の宅地面積が広いため負担金額も高額となり、負担金の納付について、理解を得にくくなってきている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
下水道が整備された区域の土地所有者か居住者、事業所等	下水道事業受益者負担に関する条例に基づき、受益者負担金を賦課徴収する。	負担金を賦課した人や事業所が納期内に完納する状態をめざす。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	4,718	3,138	2,749		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
負担金が滞納にならないように、督促状発送前後に電話督促を行い、早期の納付督促をさらに強化する。また、滞納分については、年間を通じて、電話督促、外勤徴収を行い、接触の期間が空きすぎないように注意が必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	2,749	内訳	国費	県費	市債	他	2,749	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	農業集落排水使用料徴収事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	平成14年度～ 永年	目	0 1 一般管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 1 5 下水道使用料徴収事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	農業集落排水処理施設条例		

【現状と課題】

現状と課題	農業集落排水処理施設の整備率、水洗化率が向上し、利用者数も増加した。
-------	------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
農業集落排水処理施設の利用者	農業集落排水処理施設条例に基づき使用料を賦課徴収する。	農業集落排水処理施設の維持管理に必要な費用を、施設の利用者が負担することにより、経営の健全化を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		852	890		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
農業集落排水使用料の徴収事務は水道事業管理者に委任されているが、費用負担の適正化や滞納者対策などについて、今後とも協議を行う必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	890	内訳	国費	県費	市債	他	一般	890
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公共下水道使用料徴収事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	昭和42年度～ 永年	目	0 1 一般管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 1 5 下水道使用料徴収事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法、下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	下水道の整備率、水洗化率が向上し、利用者数も増加したため、コスト削減策として、水道事業管理者に徴収事務を委任している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
公共下水道の利用者	下水道条例に基づく使用料を賦課・徴収する。	下水道施設の維持管理に必要な費用を、施設の利用者が負担することにより、経営の健全化を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		121,894	127,659		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
下水道使用料の徴収事務は水道事業管理者に委任されているが、費用負担の適正化や滞納者対策などについて、今後とも協議を行う必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	127,659	内訳	国費	県費	市債	他	548	一般	127,111
-----	---------	----	----	----	----	---	-----	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公共下水道事業運営に要する一般的経費		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	昭和42年度～永年	目	0 1 一般管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 下水道事業運営に要する一般的経費
地区別	その他		
関連根拠法令等	下水道法等		

【現状と課題】

現状と課題	予算編成、決算調整等において、公共下水道事業全体の健全・効率的・安定的な事業運営を行う。的確に経営状況を把握し、将来を見据えた事業運営を行っていく必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
公共下水道事業、下水道経営管理課	予算編成、決算調整等において、公共下水道事業の運営を行う。また部総務課として、部内全体の調整、取りまとめを行う。それらのための事務に要する経費を支出する。	公共下水道事業の健全・効率的・安定的な事業運営を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		1,832	1,494		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
平成27年度からの企業会計移行、水道局との組織統合及び平成26年度からの公営企業の新会計基準適用など、下水道経営を取り巻く環境が大きく変化している。これらの変化に対応し、より効率的で健全な下水道事業運営を行っていく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	1,494	内訳	国費	県費	市債	他	449	一般	1,045
-----	-------	----	----	----	----	---	-----	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	農業集落排水事業運営に要する一般的経費		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	平成10年度～ 永年	目	0 1 一般管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 下水道事業運営に要する一般的経費
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	兵庫県農業集落排水事業連絡協議会の事業内容としては、農業集落排水事業に関する、請願、陳情、普及啓発、調査、研究、情報、資料等の交換、全国農業集落事業推進協議会との連携など。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
農業集落排水事業、下水道経営管理課	予算編成、決算調製等において、農業集落排水事業の運営を行う。兵庫県農業集落排水事業連絡協議会に対して負担金を支出する。それらのための事務に要する経費を支出する。	農業集落排水事業の健全・効率的・安定的な事業運営を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		14	8		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	兵庫県農業集落排水事業連絡協議会に対する負担金については、農業集落排水事業に関する情報収集に係る経費として支出しており、今後も継続していく。
--	--

※事業費と財源内訳

決算額	8	内訳	国費	県費	市債	他	一般	8
-----	---	----	----	----	----	---	----	---

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	水洗便所普及奨励事業（農業集落排水事業）		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 6 水洗便所普及奨励費
期間	平成14年度～永年	目	0 1 水洗便所普及奨励費
事業区分	⑤市施策事業（経常）	細目	0 0 5 水洗便所普及奨励事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川市水洗化等促進条例		

【現状と課題】

現状と課題	農業集落排水施設の整備から3年以上が経過し、経済的な負担も伴うことから、接続件数の大幅な増加は見込めない状況にある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
農業集落排水処理区域内の未水洗化世帯及び事業所	融資あっせん制度の利用者について、必要な事務手続を行う。	未水洗化世帯及び事業所が下水道へ接続する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
水洗化人口	人		1,650	1,635		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
水洗便所設備助成金助成件数	件		8	0		
融資あっせん件数	件		0	0		
活動指標分析結果	農業集落排水処理施設の整備から3年以上が経過し、25年度の接続からは助成金の対象とはならない。					
事業費	千円		418	4		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
水洗化率	%			82	90	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			79.6	80		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	経済的理由により、接続件数が伸び悩んでいる。					

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度／義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
水洗化率をあげるために、未接続世帯に対する啓発方法を再検討するなど、更なる創意工夫が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	4	内訳	国費	県費	市債	他	2	一般	2
-----	---	----	----	----	----	---	---	----	---

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	水洗便所普及奨励事業（公共下水道事業）		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 6 水洗便所普及奨励費
期間	昭和42年度～永年	目	0 1 水洗便所普及奨励費
事業区分	⑤市施策事業（経常）	細目	0 0 5 水洗便所普及奨励事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法、加古川市水洗化等促進条例		

【現状と課題】

現状と課題	下水道が整備された地域は接続義務が下水道法に規定されているが、市街化調整区域は高齢者のみの世帯や合併浄化槽を設置している世帯の割合が比較的高く、接続には経済的な負担を伴うことから、下水道への接続を躊躇する世帯が増えている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）
下水道整備区域内の未水洗化世帯及び事業所	下水道施設見学や環境教室などの講座をとおして、下水道のPRを行うとともに、未水洗化世帯を戸別訪問し、早期の水洗化を促す。また、供用開始後3年以内に接続工事を行った場合、条件を満たすものについて、その費用の一部を助成する。	未水洗化世帯及び事業所が下水道へ接続する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
水洗化人口	人	222,144	223,875	227,521		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
講座参加者数	人	60	87	26		
戸別訪問件数	件	1,347	1,443	1,305		
水洗便所設備助成金助成件数	件	451	403	305		
活動指標分析結果	高齢世帯や合併浄化槽設置の世帯が増えており、助成金の申請件数が伸び悩んでいる。					
事業費	千円	18,051	17,369	13,436		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
水洗化率	%		94	94	95	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		93.6	93.9	94.1		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	経済的理由や家屋の老朽化、高齢者のみの世帯が増えており、接続件数が伸び悩んでいる。					

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度／義務的的事业
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施／コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
水洗化率をあげるために、未接続世帯に対する啓発方法を再検討するなど、更なる創意工夫が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	13,436	内訳	国費	県費	市債	他	6,742	一般	6,694
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	下水道事業への繰出事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 5 都市計画費
期間	昭和38年度～永年	目	0 6 下水道費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	0 0 5 下水道事業への繰出事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	地方公営企業繰出基準(地方公営企業繰出金について(総務省自治財政局長通知))		

【現状と課題】

現状と課題	繰出基準に基づき、雨水処理費等公費で負担すべきものを一般会計から下水道特別会計に繰出している。また、基準外繰出として、使用料で賄えない市債元金償還金等を繰出ししている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
一般会計繰出金(一般会計繰入金)	一般会計から下水道事業へ繰出金を支出する。				下水道事業では、公共的、政策的要請から、本来一般会計が担うべき事業や、採算ベースに乗らない事業も担っていかねばならない場合があり、これらの事業に関する経費は、「地方公営企業繰出金について(総務省自治財政局長通知)」で地方公共団体の一般会計等が負担するものと規定されている。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
基準外繰入金	円		335,732,000	390,722,000		
処理区域内人口	人		243,509	243,408		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
処理区域内人口1人あたりの基準外繰入金	円		1,379	1,605		
活動指標分析結果	他市(類型平均・全国平均)と比べると、比較的低い額となっている。					
事業費	千円		2,916,633	2,921,225		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
処理区域内人口1人あたりの基準外繰入金	円				1,300	平成27年度
			1,379	1,605		
成果指標分析結果	他市(類型平均・全国平均)と比べると、比較的低い額となっている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
先行投資型事業の典型である下水道事業にとっては、事業の性格上一般会計繰出金(繰入金)は、健全な財政運営にとって欠かせない財源である。一定の資本費準化債を調整財源としながら、一般会計繰入金でなんとか財政収支を保ってきたところである。

※事業費と財源内訳

決算額	2,921,225	内訳	国費	県費	市債	他	一般	2,921,225
-----	-----------	----	----	----	----	---	----	-----------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	水洗便所改造資金貸付融資事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 5 都市計画費
期間	平成8年度～永年	目	0 6 下水道費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	0 2 0 水洗便所改造資金貸付融資事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法		

【現状と課題】

現状と課題	普及率の高まりとともに、未水洗世帯も減少している中で、経済的な問題、家屋の老朽化、高齢者のみの世帯等の理由で、水洗化を躊躇される家庭も少なからず存在する。また各金融機関においても低利での融資を実施しているところもあり、利用件数が低迷している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
下水道整備区域及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯	金融機関に資金を預託し、条件を満たすものについて、下水道接続工事の費用の融資を行う。				未水洗化世帯が下水道へ接続する。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
水洗化人口	人		225,525	227,521		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
融資実行件数	件		1	4		
活動指標分析結果	融資実行件数については、景気の動向などにより影響を受けるため、年度により異なる。					
事業費	千円		12,000	12,000		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
水洗化率	%			94	95	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			93.8	94.1		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	経済的理由や家屋の老朽化、高齢者のみの世帯が増えており、接続件数が伸び悩んでいる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
融資利率が各金融機関の貸付利率と比較して適正であるか検討の余地はあるが、事業そのものを改革する必要はない。

※事業費と財源内訳

決算額	12,000	内訳	国費	県費	市債	他	12,000	一般
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	企業会計移行事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	平成23年度～平成26年度	目	0 1 一般管理費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 4 0 企業会計移行事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	地方公営企業法		

【現状と課題】

現状と課題	地方公営企業法上、下水道事業の企業会計移行は、各地方自治体の任意とされているが、全国的に下水道事業を企業会計へ移行する地方自治体は増えている。なお、特例市では半数近くが、県内の29市では15市がすでに企業会計へ移行している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
官庁会計方式の加古川市下水道事業特別会計	平成27年度から地方公営企業法を適用(全部適用)し、企業会計へ移行する。				官庁会計から企業会計へ移行することにより、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を作成できる。これらにより経営状況や資産状況を明確に把握し、効率的で効果的な経営を目指す。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市下水道事業特別会計	会計数		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
資産評価対象工事件数	件		5,862	2,792		
活動指標分析結果	前年度に収集した設計図書や決算書からデータを基に下水道管渠やポンプ場等の資産評価を主な業務とした。					
事業費	千円		8,148	4,783		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%			27	100	平成26年度
	上段:計画値/下段:実績値		46	27		
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	資産評価に基づく固定資産台帳の一部が作成できた。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要はない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
国においても、下水道事業への地方公営企業法の適用が検討されており、企業会計の移行は妥当と考える。

※事業費と財源内訳

決算額	4,783	内訳	国費	県費	市債	他	2,391	一般	2,392
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	流域下水道建設負担金		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道経営管理課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	平成6年度～永年	目	0 1 一般管理費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 3 0 流域下水道建設負担金
地区別	その他		
関連根拠法令等	下水道法		

【現状と課題】

現状と課題	県の建設事業に係る各市町(2市2町)の負担金であり、流域下水道維持管理負担金と同様、ある意味義務的な施策事業でもある。今後とも加古川下流浄化センター改修工事の有無で、年度間で多少の金額の変動はある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川流域下水道(加古川下流浄化センター(終末処理場):兵庫県)	加古川下流浄化センターの処理施設整備費の一部を負担する。	流域下水道とは、2以上の市町村の区域にわたり下水道を整備することが効果的かつ経済的な場合、都道府県が設置・管理する下水道である。加古川下流浄化センターは、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町(2市2町)の終末処理場であるため、その施設整備費を2市2町の負担率にて按分し、県に対して負担金を支出している。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
処理区域面積	h a		5,562.1	5,562.1		
処理人口	人		335,900	335,900		
流入下水量(日平均)	m 3		126,992	126,992		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
処理区域面積	h a		5,562.1	5,562.1		
処理人口	人		335,900	335,900		
流入下水量(日平均)	m 3		126,992	126,992		
活動指標分析結果	流域下水道の維持管理を行っている兵庫県まちづくり技術センター発行の「下水道事業管理年報」より、主な指標を抽出した。(H25年度分はまだ発行されていないため、H25実績値はH24と同値としている。)					
事業費	千円		91,423	54,190		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
処理区域面積 上段:計画値/下段:実績値	h a		5,562.1	5,562.1	8,141	平成27年度
処理人口 上段:計画値/下段:実績値	人		335,900	335,900	363,900	平成27年度
流入下水量(日平均) 上段:計画値/下段:実績値	m 3		126,992	126,992	174,700	平成27年度
成果指標分析結果	目標値(全体計画)との比較であるが、それぞれ処理区域面積が68.3%、処理人口が92.3%、流入下水量(日平均)が72.7%であった。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事业
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事业
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
県の建設事業に係る各市町(2市2町)の負担金であり、流域下水道維持管理負担金と同様、ある意味義務的な施策事業でもある。今後とも加古川下流浄化センター改修工事の有無で、年度間で多少の金額の変動はある。それぞれの市町が単独で下水処理場を建設し、設置・管理するよりも、地域的に流域下水道として下水処理した方が、効果的かつ経済的な事業運営を行うことができる。

※事業費と財源内訳

決算額	54,190	内訳	国費	県費	市債	51,200	他	2,990	一般
-----	--------	----	----	----	----	--------	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	ポンプ場施設建設に要する一般的経費		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	昭和38年度～ 永年	目	0 2 ポンプ場施設建設費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 ポンプ場施設建設事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	職員数に合わせて、さらには事務の効率化を図ることにより、経費節減に努めている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
下水道建設課の職員。	ポンプ場施設建設事業に係る事務の執行に要する経費を支出する。	下水道建設課の効果的、効率的な運営を行う。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		284	348		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	適正な事務の執行のため必要である。
--	-------------------

※事業費と財源内訳

決算額	348	内訳	国費	県費	市債	47	他	301	一般
-----	-----	----	----	----	----	----	---	-----	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	下水道台帳整備運用事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 1 総務費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 総務管理費
期間	平成8年度～永年	目	0 1 一般管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 3 5 下水道台帳整備運用事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法第23条		

【現状と課題】

現状と課題	下水道台帳のデジタル化により、迅速な対応が可能となった。
-------	------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民、下水道施設使用者等。	下水道台帳のデータ入力により、記載事項の調製及び更新を定期的に行う。	維持管理及び窓口閲覧システムを利用するうえで支障のないようにする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		27,058	27,061		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
今後も下水道台帳の記載事項の調製及び更新を定期的に行う必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	27,061	内訳	国費	県費	市債	他	8,420	一般	18,641
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	管渠築造事業に要する一般的経費		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	昭和38年度～永年	目	0 1 管渠築造費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 管渠築造事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	事務の効率化を図ることにより、経費の節減に努めてきた。
-------	-----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
下水道建設課の職員。	管渠築造事業に係る事務の執行に要する経費を支出する。	下水道建設課の効果的、効率的な運営を行う。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		6,056	8,338		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	適正な事務の執行のため必要である。
--	-------------------

※事業費と財源内訳

決算額	8,338	内訳	国費	県費	市債	705	他	7,633	一般
-----	-------	----	----	----	----	-----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	排水設備事業に要する一般的経費		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 4 排水設備費
期間	昭和38年度～ 永年	目	0 1 排水設備費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 排水設備整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法 加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	事務の効率化を図ることにより、経費の節減に努めてきた。
-------	-----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)			
下水道建設課の職員。	排水設備事業に係る事務の執行に要する経費を支出する。	下水道建設課の効果的、効率的な運営を行う。			
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外					
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外					
事業費	千円		240	3,462	
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
今後も排水設備事業に一般的経費が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	3,462	内訳	国費	県費	市債	173	他	3,289	一般
-----	-------	----	----	----	----	-----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公共下水道管渠維持補修事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 3 維持管理費
期間	昭和38年度～ 永年	目	0 2 管渠維持管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 0 5 管渠維持整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法 加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	経年劣化による下水道管路施設に対し、事前調査を行い、積極的に修理、補修を行っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
公共下水道施設 (汚水・合流管渠)。	公共下水道管渠の修理・補修等、維持管理を行う。	健全な公共下水道施設 (汚水・合流管渠) を維持するための適正な処理。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		121,390	116,334		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】 (妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】 (上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	今後も適正な維持管理が必要である。
--	-------------------

※事業費と財源内訳

決算額	116,334	内訳	国費	県費	市債	他	5,816	一般	110,518
-----	---------	----	----	----	----	---	-------	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	農業集落排水管渠維持補修事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 3 維持管理費
期間	平成14年度～ 永年	目	0 2 管渠維持管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 0 5 管渠維持整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法 加古川市下水道条例 加古川市農業集落排水処理施設条例		

【現状と課題】

現状と課題	農業集落排水施設を維持していくため、修理・補修等による維持管理を行っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
農業集落排水施設 (污水管渠)。	農業集落排水施設管渠の修理・補修等による維持管理を行う。	健全な農業集落排水施設 (污水管渠) を維持するための適正な処理。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		4,340	3,542		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
今後も適正な維持管理が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	3,542	内訳	国費	県費	市債	他	一般	3,542
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	雨水管渠維持補修事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 3 維持管理費
期間	昭和38年度～ 永年	目	0 2 管渠維持管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 0 雨水管渠維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法 加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	経年劣化による公共下水道施設（雨水管渠）に対し、適正な修理、補修を行っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
公共下水道施設（雨水管渠）。	公共下水道管渠（雨水）の修理・補修等による維持管理を行う。	健全な公共下水道施設（雨水管渠）を維持するための適正な処理。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		12,089	11,356		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
今後も適正な維持管理が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	11,356	内訳	国費	県費	市債	他	11,356	一般
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	農業集落排水施設管理事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 3 維持管理費
期間	平成14年度～ 永年	目	0 4 処理施設維持管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 0 5 農業集落排水施設管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	浄化槽法、加古川市農業集落排水処理施設条例、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	処理施設の機能維持を図るために点検・整備を行い、集落排水を適正に処理する。
-------	---------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
農業集落排水処理施設(野村水すまし館・磐東水すまし館・行常水すまし館)	適正な維持管理により、機器の確実な稼働が行えるようにする。	対象施設が適正に稼働し、生活排水が適正に処理される。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		35,988	34,352		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
今後も適正な汚水処理を行うために必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	34,352	内訳	国費	県費	市債	他	15,544	一般	18,808
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	雨水ポンプ場維持補修事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 3 維持管理費
期間	昭和38年度～ 永年	目	0 7 雨水ポンプ場維持管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 0 5 雨水ポンプ場維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	雨水ポンプ場施設を中央監視センター（安田中継ポンプ場）で集中管理することで効率的な維持管理を行い、浸水防止に努めている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
雨水ポンプ場施設（新野辺雨水ポンプ場、西脇雨水ポンプ場、神野団地雨水ポンプ場、中島雨水ポンプ場）	適正な維持管理により、機器の確実な稼働が行えるようにする。	対象施設が適正に稼働し、雨水排水処理が適正に行われる。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		94,618	72,078		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
今後も適正に雨水排除を行うために必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	72,078	内訳	国費	県費	市債	他	72,078	一般
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	汚水中継ポンプ場維持補修事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 3 維持管理費
期間	昭和38年度～ 永年	目	0 8 汚水中継ポンプ場維持管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 0 5 汚水中継ポンプ場維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	汚水中継ポンプ場施設を中央監視センター（安田中継ポンプ場）で集中管理することで効率的な維持管理を行い、適正な維持管理に努めている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
汚水中継ポンプ場施設（安田中継ポンプ場、池尻中継ポンプ場、石守中継ポンプ場）	適正な維持管理により、機器の確実な稼働が行えるようにする。	対象施設が適正に稼働し、汚水中継処理が適正に行われる。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		112,270	114,887		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
今後も適正に汚水中継処理を行うために必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	114,887	内訳	国費	県費	市債	他	34,619	一般	80,268
-----	---------	----	----	----	----	---	--------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	既設管事前調査事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 3 維持管理費
期間	平成22年度～永年	目	0 2 管渠維持管理費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	0 0 5 管渠維持整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法 加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	施設の劣化状況、誤接続及び不明水調査を事前に行い、適切な対策を講じる必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
公共下水道処理区域内の下水道管渠。	経年管の劣化調査及び誤接続、不明水を調査する。	健全な下水道管路を維持するための補修・改修計画を作成する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
既設下水道管調査延長	m		1,530	1,609		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
既設下水道管調査延長	m		1,530	1,609		

活動指標分析結果	既設下水道管の劣化調査を計画どおりに行うことができた。			
事業費	千円		9,907	10,148

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
既設下水道管調査総延長	m			2,800	12,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			1,530	3,139		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	既設下水道管の劣化調査を計画どおりに行うことができたため、計画的に進めることが出来ている。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
今後も適正な維持管理のため、経年劣化調査が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	10,148	内訳	国費	県費	市債	他	508	一般	9,640
-----	--------	----	----	----	----	---	-----	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	流入補助管布設事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 4 排水設備費
期間	昭和38年度～永年	目	0 1 排水設備費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 排水設備整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	下水道法 加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	公共下水道への接続希望に応じ、対象敷地へ汚水取付管及び柵を設置している。
-------	--------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
公共下水道へ接続するため、新たに取付管を設置する市民。	対象となる敷地へ汚水取付管及び柵を設置する。	受益者による宅内排水設備の新設(改造)工事にあわせて、公共下水道が使用できる状態にする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
公共下水道への接続届	箇所		127	109		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
取付管の設置数	箇所		127	109		
活動指標分析結果	取付管の設置により、水洗化が図られた。					
事業費	千円		29,694	30,527		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
取付管の設置総数	箇所			240	960	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			127	236		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	取付管の設置により水洗化が図られた。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
公共下水道への接続届に対して、現状の事業手段で維持することが妥当である。

※事業費と財源内訳

決算額	30,527	内訳	国費	県費	市債	30,500	他	27	一般
-----	--------	----	----	----	----	--------	---	----	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	雨水ポンプ場施設建設事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	昭和38年度～永年	目	0 2 ポンプ場施設建設費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 ポンプ場施設建設事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	ポンプ場施設の老朽化に伴い、排水機能維持のために計画的かつ効率的な改築更新工事が必要である。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
雨水ポンプ場(神野団地雨水ポンプ場・新野辺雨水ポンプ場・西脇雨水ポンプ場)	各雨水ポンプ場の長寿命化計画を順次策定し、計画的に改築更新工事を実施する。				対象施設が適正に稼働し、雨水排水が確実に行われるよう建設及び改築更新を行う。	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
雨水排水能力		m <sup>3</sup> /分		928	928	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
雨水排水能力		m <sup>3</sup> /分		928	928	928
活動指標分析結果		計画的な建設及び改築更新を行う。				
事業費		千円		7,844	3,465	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
雨水排水能力		m <sup>3</sup> /分			928	928
上段:計画値/下段:実績値				928	928	928
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	計画どおりの建設及び改築更新を行った。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
当該施設の雨水排水処理機能維持のため今後も改築更新が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	3,465	内訳	国費	1,732	県費		市債	1,733	他		一般
-----	-------	----	----	-------	----	--	----	-------	---	--	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	雨水管渠整備事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	昭和37年度～永年	目	0 1 管渠築造費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 2 0 雨水管渠整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法		

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量に雨水が排水路へ流れ込むため新たな浸水区域を発生させている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市民(浸水被害区域内住民)	下水道計画に基づく雨水管渠整備	降雨44mm/hrに対応した雨水管渠整備により、適切に雨水を処理する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
雨水事業認可区域内の整備面積	ha	1,432	1,478	1,513		
雨水整備面積(年度毎)	ha	4.7	5	30.4		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
都市浸水対策達成率	%	40.5	42.1	42.99		平成29年度
都市浸水対策達成率(年度毎)	%	100	100	100		平成27年度

活動指標分析結果	浸水被害のあった地区を優先的に整備することで浸水範囲は減少している。			
事業費	千円	152,607	96,544	208,920

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
雨水幹線整備率	%		22.6	22.9	25.13	平成29年度
上段:計画値/下段:実績値		22.5	22.7	23.1		
雨水幹線整備率(年度毎)	%			100	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		100	100	100		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	緊急度の高い短期整備区域の整備を進めているが、目標となる母数が大きいため指標の上昇率が小さい。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(大)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
適切な雨水処理を行うための下水道事業として必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	208,920	内訳	国費	114,763	県費		市債	94,157	他		一般
-----	---------	----	----	---------	----	--	----	--------	---	--	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	管渠改築事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	～ 永年	目	0 1 管渠築造費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 1 0 管渠改築事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	管路施設の老朽化による道路陥没等の事故を未然に防ぐため、計画的な改築更新を実施する必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)				意図 (どのような状態にする)	
市内における下水道管路施設のうち、老朽化による道路陥没等事故の可能性が高く布設年度が古い管渠。	24年度に策定した長寿命化計画に基づき、25年度に実施設計を行い、26年度～29年度で改築更新を行う。30年以後は引き続き長寿命化計画を策定し計画的に事業を進める。				日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止する。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
改築更新が必要な管路の延長	km		0.02	0		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
工事発注件数	件		1	0	5	平成29年度
活動指標分析結果	計画的な工事発注を行うため、詳細設計を行った。					
事業費	千円		86,510	47,944		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
管渠更生率	%		2	0	100	平成29年度
				0		
成果指標分析結果	計画的に事業を進めることができている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的的事业
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
平成24年度に策定した長寿命化計画に基づき、予防保全を重視した計画的な改築を実施していく。

※事業費と財源内訳

決算額	47,944	内訳	国費	790	県費	市債	47,064	他	一般	90
-----	--------	----	----	-----	----	----	--------	---	----	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	市街化調整区域整備事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	平成6年度～永年	目	0 1 管渠築造費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 管渠築造事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	平成23年度から中期整備計画区域の整備に入るも、主財源となる国庫補助金が縮減されたことによって工事を先送りするなど、既に整備年次計画に遅れが出ている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市街化調整区域における公共下水道中期整備計画区域のうち、下水道が整備されていない路線に面する土地に居住(又は営業)する市民(又は事業者)。	対象路線に下水道管渠(本管)を埋設し、あわせて沿道の対象敷地へ取付管を設置する。	受益者による宅内排水設備の新設(改造)工事により、随時、公共下水道が使用できる状態にする。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
供用人口	人	1,265	1,045	640		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
工事発注件数	件	22	20	16	91	平成27年度
取付管の設置数	箇所	423	413	258	1,546	平成27年度

活動指標分析結果	工事の発注件数については、主財源となる国庫補助金の縮減等により一部の工事を平成26年度へ先送りした影響もあり達成度は低い。
----------	---

事業費	千円	906,419	679,026	640,781	
-----	----	---------	---------	---------	--

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市街化調整区域普及率(整備率)	%		3	3	14.8	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		2.8	2.2	1.2		

成果指標分析結果	工事の完了により、市街化調整区域における供用人口は640人増加し、普及率(整備率)は45.7%となり前年度比1.2ポイント上昇し目標値は概ね達成している。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	意図を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
平成25年度は目標値を概ね達成しており、引き続き、事業を継続的・安定的に実施していくためには、限られた財源の中で効率的な事業の実施を目指す必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	640,781	内訳	国費	187,153	県費	市債	423,363	他	30,265	一般
-----	---------	----	----	---------	----	----	---------	---	--------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	市街化区域整備事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	昭和38年度～平成37年度	目	0 1 管渠築造費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 管渠築造事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	市街化区域であり本来整備が完了していなければならない区域であるが、交通量が多い路線、地下埋設物及び構造物等により施工難易度が高い路線などが未整備となっている。現在、地元要望により接続の意思を確認してから工事に着手している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
〔受益者〕市街化区域内で公共下水道が整備されていない路線に面する土地に居住(又は営業)する市民(又は事業者)。	対象路線に下水道管渠(本管)を埋設し、あわせて対象敷地に対して取付管を設置する。	受益者による宅内排水設備の新設(改造)工事により、随時、公共下水道が使用できる状態にする。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
供用人口	人	70	120	188		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
工事発注件数	件	10	8	10	77	平成27年度
取付管の設置数	箇所	19	97	95	269	平成27年度

活動指標分析結果	工事の発注件数は10件で、県道の道路改築事業等の影響により2件減となっている。取付管の設置数は、予定通り設置済。			
事業費	千円	118,828	134,904	170,152

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
供用人口	人		150	100	520	平成27年度
		70	120	188		

成果指標分析結果	供用人口は188人増加し、その結果、普及率(整備率)は99.8%となった。
----------	---------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市街化区域は全域公共下水道区域であり、本来、整備が完了していなければならないため、今後も地元要望にもとづき整備検討を進めていく必要がある。
---

※事業費と財源内訳

決算額	170,152	内訳	国費	県費	市債	160,597	他	9,555	一般
-----	---------	----	----	----	----	---------	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	水道局工事事務費負担事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	平成16年度～平成25年度	目	0 1 管渠築造費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 管渠築造事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	公共補償に準じた水道管移設補償を検討している。
-------	-------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
水道局。	公共下水道整備に伴う上水道移仮設工事事務に要する経費を支出する。	移仮設工事事務を効率的に執行するために事業負担金を支払う。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
水道局	局		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
工事件数	件		20	13		
活動指標分析結果	水道局に円滑に工事を依頼することができている。					
事業費	千円		47,007	46,122		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
上水道移仮設施工延長	m		3,448	2,698	3,900	平成25年度
成果指標分析結果	下水道工事のための上水道移仮設が順調に行えた。移仮設対象区間の精査により、移仮設延長が縮小可能となったことでコスト削減が図れた。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
適正な事務執行に必要な事業である。

※事業費と財源内訳

決算額	46,122	内訳	国費	県費	市債	他	46,122	一般
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	汚水ポンプ場施設建設事業		
部局名	下水道部	課(室)名	下水道建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	2 3 下水道事業特別会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 2 下水道事業費
施策	0 6 雨水・汚水を適切に処理する	項	0 1 下水道管渠費
期間	昭和38年度～永年	目	0 2 ポンプ場施設建設費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 ポンプ場施設建設事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例		

【現状と課題】

現状と課題	平成23年度に安田中継ポンプ場の長寿命化計画を策定し、施設の機能維持のために平成25年度から改築更新工事に着手。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
汚水中継ポンプ場(安田中継ポンプ場・池尻中継ポンプ場・石守中継ポンプ場)	各汚水中継ポンプ場の長寿命化計画を順次策定し、計画的に改築更新工事を実施する。				対象施設が適正に稼働し、汚水中継処理及び雨水排水が適正に行われるよう建設及び改築更新を行う。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
汚水中継処理能力	m <sup>3</sup> /分		60.6	60.6		
雨水排水能力	m <sup>3</sup> /分		912	912		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
汚水中継処理能力	m <sup>3</sup> /分		60.6	60.6	60.6	平成29年度
雨水排水能力	m <sup>3</sup> /分		912	912	1,116	平成29年度
活動指標分析結果	計画的な建設および改築更新を行う。					
事業費	千円		3,035	120,435		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
汚水中継処理能力	m <sup>3</sup> /分			60.6	60.6	平成29年度
上段:計画値/下段:実績値			60.6	60.6		
雨水排水能力	m <sup>3</sup> /分			912	1,116	平成29年度
上段:計画値/下段:実績値			912	912		
成果指標分析結果	計画どおりの建設および改築更新を行った。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
当該ポンプ場の汚水中継処理及び雨水排水処理機能維持のため今後も改築更新が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	120,435	内訳	国費	60,217	県費		市債	60,218	他		一般
-----	---------	----	----	--------	----	--	----	--------	---	--	----